

りゅうおう 議会だより

No. 146

2009.2.1

RYUOH

編集発行●滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (有)58-3713



第1回善光寺川環境美化活動（清流会）

● 主 な 記 事 ●

第4回（12月）定例会

- 条例関係、一般・特別会計補正予算など
..... P 2～3
- 一般質問 P 4～9
- 行政視察研修報告 P 10～11
- 委員会報告 P 12～14
- 議会傍聴記、編集後記 P 14

平成20年第4回定例会は12月4日から12月19日までの日程で開催されました。

条例改正・公の施設の
指定管理者の指定、
一般会計補正など

12月定例会

条例改正

◎竜王町下水道条例の一

部を改正する条例

竜王町下水道条例の一

部を削除改正するもの

全員賛成で可決

に歳入歳出それぞれ150万円追加し歳入歳出予算の総額を5850万円とするものです。

全員賛成で可決

算の総額を歳入歳出それぞれ10億5458万8千円とするものです。

全員賛成で可決

補正予算

◎平成20年度竜王町国民

健康保険事業特別会計

(施設勘定)補正予算(第2号)

医科 今回の補正予算

は、歳入歳出予算の総額

に歳入歳出それぞれ24

0万円追加し歳入歳出予

算の総額を8990万円

とするものです。

歯科 今回の補正予算

は、歳入歳出予算の総額

◎平成20年度竜王町老人保健医療事業特別会計補正予算(第3号)

今回の補正予算は予算

の組み替えにより総額を

歳入歳出それぞれ1億6

196万6千円とするも

のす。

全員賛成で可決

◎平成20年度竜王町水道事業会計補正予算(第3号)

今回の補正予算は予算

第3条に定めた収益的支

出の予定額は3億395

万6千円で予算の組み換

え補正するものです。

全員賛成で可決

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

平成20年度竜王町一般会計補正予算(第5号)

円とするもので、主な歳入は前年度繰越金、障害

者自立支援給付費国庫負

担金地方税等減収補てん

主な質疑応答は
今回の補正で電気

工事費等が安くなっ

ているのはなぜか。

答 適正な競争入札です

が、今は仕事が少ない

全体的に落札率が落ち

ています。

意見として

善光寺川清流会の取り

組みは、協働で行う自主

的自発的な活動なので、

今後のまちづくりの一つ

のモデルとして評価する

と共に、これからこの

様な活動には町からの力

強い支援をいただきたい。

全員賛成で可決

公の施設の指定管理者の指定については、従来



更新予定の庁舎電話交換機

この制度を採り入れてい

た施設で、一般公募とな

った「妹背の里」、「竜王

町農村運動広場」とその

他の非公募15施設を平成

21年4月1日から5年間

を指定管理者にすること

について、指定管理者選

定委員会での募集、選定

方法、選定結果、選定理

由等の説明を受け審査し

ました。

主な質疑応答は

問 一般公募を採り入

れたのはなぜか。

答 行革を進めていた中

で、妹背の里を他の組

織も参加してもらう公

募としました。

意見として

指定管理者には施設委

託料が少なくなるように、

収入が多く入る開拓やチ

ャレンジをするよう指導

していただきたい。

シルバーワークプラザは

全員賛成で可決、その

他は賛成多数で可決

ザの情報は入ってい

るか。また医療費の

増額をどうみている

のか。

答 新型インフルエンザ

の情報は入っています

んが、東南アジアでは

人に感染しています。

療養費が昨年度より3

%多くなっているため

下半期に向けた補正を

していくものです。

全員賛成で可決

全員賛成で可決

◎竜王町国民健康保険条

例の一部を改正する条

例

健康保険法施行例の一

部改正は、出産育児一時

金について産科医療保障

制度に加入している医療

機関で分娩した場合のみ

現行の出産育児一時金

(35万円)に3万円を加

算する改正です。

分娩により発症した重

度脳性麻痺児にたいする

保障の機能および原因分

析、再発防止の機能を併

せ持つ制度で平成21年1

月1日からの施行となり

ます。

主な質疑応答は

問 現行の35万円は各

市町同額か

答 県下統一されています。

全員賛成で可決

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

◎平成20年度補正予算

国民健康保険事業特別

会計（事業勘定）

既決予算に歳入歳出そ

れぞれ3103万4千円

を追加し、歳入歳出予算

の総額を9億1344万

円に改めるものです。

一般療養給付費、退職

者療養給付費、実績見込

みによる出産一時金の増

額等によるものです。

主な質疑応答は

問 新型インフルエン

主な質疑応答は

問 介護保険料の未納

状況はどうか。

答 9月1日現在で滞納

者は156人で滞納額

は約360万円となっ

ています。

◎介護保険特別会計

既決予算に歳入歳出そ

れぞれ449万5千円を

追加し、歳入歳出予算の

総額を5億4296万9

千円に改めるものです。



12月定例会



一般質問

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ①幹線農業用水路および排水路の維持管理体制の整備について…… | 蔵口嘉壽男 議員 |
| ②町内の農業・商業活性化を…… | 岡山 富男 議員 |
| ③危険な通学路の早急な安全対策について…… | 菱田 三男 議員 |
| ④A E Dを各字に常備を…… | 山添 勝之 議員 |
| ⑤竜王町の公共交通整備について…… | 貴多 正幸 議員 |
| ⑥法人税収について…… | 村田 通男 議員 |
| ⑦まちづくり懇談会について現時点での総括を伺う。…… | 若井 敏子 議員 |
| ⑧町の財政基盤充実について…… | 山田 義明 議員 |

一般質問は12月17日に行われ、通告のあった8人の議員から18問の質疑と当局による回答がありました。本ページから8ページ上段まで、各議員の代表的な質問を一つ、登壇順に掲載しております。

また8ページ下段からその他の質問も掲載しました。是非お読みいただき、ご意見やご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

答

ご質問の施設は、約33年を経

過していることから、老朽化が進み排水路などの維持管理が大変になってきております。

各地域で「農地・水・

問

日野川流域土地改良区で管理

されていない、幹線農道、幹線用水路、幹線排水路が、経年変化により、用水路の漏水、排水路の崩壊など多く現れている。

施設の機能回復や修理が受益の形態などをめぐって、一集落の営農組合や農家で負担できるものではない状況にある。

そこで施設の維持管理体制の整備方を早急に打ち立てるべきだと考えるが、所見を伺う。

幹線農業用水路および排水路の維持管理体制の整備について

啓動向を見極めながら施策を講じていきます

蔵口 嘉壽男 議員



環境向上対策」や「町単独事業」なども取り込みながら、皆さんが協力し工夫しながら施設保全を行っていただいております。

国は、平成21年度の新規事業として末端受益面積を10ha以上に定めた施設の部分的な更新や予防保全等の対策が支援できるよう、「地域農業水利施設ストックマネジメント事業」を創設する予定と聞いております。

今後とも健全な状態



経年変化で損傷などが進む農業施設

で農業水利施設の更新を考えていくことは、特に重要なことと考えており、施設更新の時期等が目前に迫っている現状から、この事業の動向をしつかりと見極めながら、施策を講じてまいりたいと考えております。



町内の農業・商業活性化を

答支援・協力していきます

岡山 富男 議員



宮崎県川南町軽トラ市

ものを自分たちで消費するというのをどのように考えておられるのかを伺う。

問 中心核づくりは竜王町にとつては必要でありますし、町の活性化の一つであると思います。ただ地元の農業・商業を活性化していくために、自分たちの力で作り上げ、自分たちの知恵を出し工夫をして売り出し、地元で穫れた

果物・米・魚・食べ物等あらゆる物を軽の車で持つてこれ、自分の力で売られていました。

まさに「土産土法・地産地消」ではないかと思っています。これを竜王町バージョンとして取り組みないでしょうか、考えを伺う。

答

竜王町のオリジナルの産業や商品、農産物等の加工特産品づくり、とりわけ付加価値の高い商品開発および販売を農業者と事業者との連携共同による事業展開にたいして町の支援制度の創設を検討していきたいと考えています。

また、軽トラ市を竜王町での取り組みにつきましては、現在町商工会でも検討を行って頂いておりますが、今後こうした取り組みに対して町の産業振興を図ることとして、町としても関係機関とともに、支援並びに協力をしてまいりたいと考えています。



危険な通学路の早急な安全対策について

答県に対して要望活動をしてまいります

菱田 三男 議員

問

県道綾戸東川線の歩道は、子どもたちの登下校のメイン道路でありながら防犯灯も無い幅2m弱の片側歩道で、自転車と歩行者が衝突する事故がいくつか起きてもおかしくない。また最近町内外において変質者の犯罪が多発しており、早急な危険回避の対策が必要である。

当道路の防犯灯設置および両側歩道整備の計画について伺いたい。「県道だから出来ない」という縦割行政的ではない、地域安全、教育の面からの町行政の方針も併せて伺う。

答

当道路は歩道の幅内の歩行者と自動車分離ライン設置、

歩道と車道境界ブロックを高くする工事を実施してきたが、歩道の拡幅までには至っていない。また道路照明灯については、綾戸地先から弓削地先の交差点部に安全確認に10基、防犯灯は12基設置されています。

歩道拡幅整備については、町単独事業による大規模投資は今日の経済の厳しい冷え込みから歳出面の見直しが求められている中、困難であり、県に対する要望活動を推進していきたいと考えております。

今後の防犯灯の設置については、関連関係機関と協議検討していきたい。また、弓削地先で発生した死亡事故交差点については、

県東近江地域振興局建設管理部へ道路照明灯の早期設置の要望を行っています。



何とかして！！この危ない歩道



AEDを各字に常備を

山添 勝之議員

答 AED整備の支援と予算の確保に努力します。

問

平成16年から一般の人にもAEDの使用が認められ救命率は向上しました。

竜王町においては役場等公共施設には設置されていると思います。

しかし事故はいつでも起こるか解らないのです。緊急性を考慮すると各字に一台ずつ設置するのが望ましいのではない

答

この機械は心臓の動きを自動的に解析して電気ショックを与え心臓に規則正しい運動を取り戻し、その後心臓を蘇生を施すことにより救命する機器です。

各字に一台ずつ整備されることは望ましいとは思いますが錠が掛つてい



美松台グリーンホールに設置されているAED

たり、悪戯や盗難の心配のない所でなくてはなりません。美松台自治区では「自ら事業」を活用さ

れ設置されております。他の自治会もこの制度を活用され積極的に取り組んで頂きたいと思

問

現在、竜王町においては、東西を結ぶバス路線は全くなく、車やバイクの免許を持つておられない住民の方は医療機関や役場へ行くには、家族や親戚、また友人の方に送迎を頼まなければ行くことが出来ないのが現状です。

また、平成22年夏オープン予定の大型商業施設や中心核の整備など、今後、公共交通の整備は竜王町にとって重要な課題と考えますが、当局の考えを伺う。

答

これまで、路線バスの運行拡大については以前より検討は致しておりますものの、運行上の様々な課題に加えて、運行経費増大等、事業者のみでの対応としては、その可能性は無く、行政からの支援に

関係者にも



竜王町の公共交通整備について

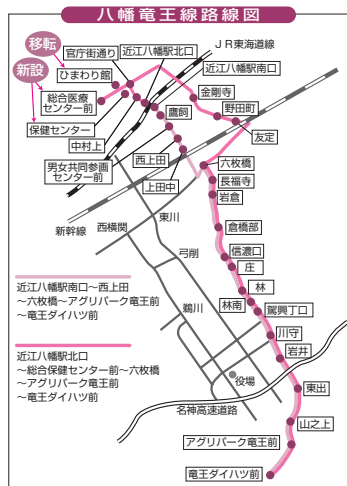
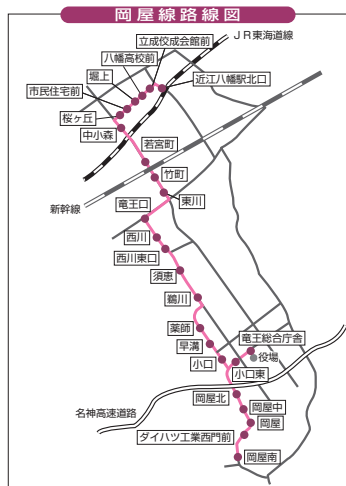
貴多 正幸議員

答 有効かつ適切な対策を講じていきます

についても赤字補填以上の負担については、その効果や長期的な経費支出を勘案すると大変課題が大きなものと考えております。

しかしながら、インター周辺の大型広域商業施設や中心核（タウンセンター）の日常商業施設の整備は、公共交通対策についても、竜王町にとつて新たな要素であります。

今後につきましては、このような新たな場面の展開に、関係者にも





法人税収について

村田 通男 議員

〔答〕12月の段階では、予算割れは逃れられる見通しです。

問

補正予算には法人税の落ち込みが盛り込まれていないが、町内各企業における景気の現状実態をどのように把握されているのか。

大手企業をはじめ、他の企業の実態が掴めていないのか心配ですし、景気の動向によっては、他の税も、潰崩しに下落してくることが予想されますが、町の予算編成は大丈夫なのか伺う。

か検討するところですが、12月の段階では、町税収全体として予算割れすることは逃れられる見通しをもっております。

今後の社会経済状況に注視しつつ、3月補正予算ならびに新年度の予算編成に向けて、最悪の状況も想定しながら、鋭意に取り組んでまいりたいと考えています。

答

大手企業に依存しがちな財政構造をもつ、本町の本年度歳入予算の確保ならびに予算割れについては、年度末に向けて、歳入予算の減額補正や歳出予算の執行調整が必要かどうか



ダイハツ工業滋賀（竜王）工場

問

懇談会のやり方についてはもっと工夫が必要で、毎回検証し、変化や発展がなければならぬものだと思います。

また、参加した人もしなかった人も町づくりの要であり、皆さんの力に依拠することが大事ではないか。

懇談会後のフォーラムについての計画を伺う。

私は今度のフォーラムは今後の竜王の町づくりの前進に大きく貢献するものであるからこそ、一回で終わらせないで、今までのありきたりのフォーラムとは違った、竜王の町づくりの揺さぶりをかけるようなもの、今後史に残るものにしてほしいと考えるがどうか。

答

地域懇談会は、これからの町づくりについての視点を示しながら、皆さんと町執行部との意見交換を通じてビジョンの構築につなげるものです。

「住民が町づくりの主役」であることを念頭に懇談しており意義深く感じています。

合併については概ねご理解をいただいております。節目の判断ができると感じています。

懇談会後のフォーラムについては住民と町が協働で町づくりを進めるために情



まちづくり懇談会について

現時点での総括を伺う。

若井 敏子 議員

〔答〕住民と町が協働で町づくりを進めます

報を共有しながら、町づくりの現状を踏まえ、先進事例に学ぶなど工夫を凝らしたフォーラムにしたいと考えています。具体的には現在検討をしています。大変重要な時期であり、重要な位置づけをして取り組みます。



地域創造まちづくり懇談会の様子



町の財政基盤充実について

山田 義明 議員

答来年、再来年をいかに乗り切るかに専念します

問

町長は、就任前後より町の財政を充実させ、揺るぎのない不動のまち竜王町を目指すと言われているが、基本的は何をどの様にすることにより財政基盤を充実させるのか、具体的な施策と大まかな数値も併せて伺う。

町長は、就任前後より町の財政を充実させ、揺るぎのない不動のまち竜王町を目指すと言われているが、基本的は何をどの様にすることにより財政基盤を充実させるのか、具体的な施策と大まかな数値も併せて伺う。

り継承し、効果的な事務の執行に努めます。併せて、行財政改革により相当な見直しを図っておりですが、さらに行政のスリム化を図る努力を重ねます。また、住民サービスでも慎重な見極めを行いながら、事業評価等を繰り返し、その対応をします。具体的な事

項については現在社会経済の非常事態宣言のような状況にあり、全く先が読めない状況にありますことから、来年、再来年を以下に乗り切るかと言うことに専念努力させていただくことが、最も重要なことであると考えております。

答

昨年度は起債残高の総額を3億7千万円減少させ、健全な財政運営に努めました。本年度は社会情勢の急変により、町の財政を取り巻く環境は大変厳しく、先行きが非常に心配される状態です。確実なところは、滞納整理による税収の確保に努めるべく、滋賀県地方税滞納整理機構の共同徴収チームが、成果をあげましたノウハウをしっかりと

町債の現在高 (平成20年9月30日現在)

(単位 千円)

目的別	平成20年 3月31日現在 現在高(A)	平成20年4月1日～平成20年9月30日増減 元金償還額(B)	平成19年度 借入額(C)	平成20年度 借入額(D)	平成20年 9月30日現在 現在高 (A)-(B)+(C)+(D)
*一般会計					
1 普通債	4,479,879	326,672	46,900		4,200,107
(1) 総務	702,770	50,359			652,411
(2) 土木	183,560	15,772			167,788
(3) 農林水産	8,362	491			7,871
(4) 商工	69,998	4,901			65,097
(5) 教育	678,188	61,366	42,000		658,822
(6) 庁舎					
(7) 消防	357,018	35,731	4,900		326,187
(8) 都市計画	2,261,615	154,008			2,107,607
(9) 衛生					
(10) 民生	218,368	4,044			214,324
2 災害復旧費					
(1) 土木					
3 その他	2,188,874	73,984	181,400		2,296,290
(1) 減収補てん債	131,760	8,235			123,525
(2) 臨時地方道整備事業債	266,818	17,656	8,900		258,062
(3) 町民税等減収補てん債	475,762	20,997			454,765
(4) 臨時税収補てん債	52,308	2,376			49,932
(5) 臨時財政対策債	1,262,226	24,720	172,500		1,410,006
計	6,668,753	400,656	228,300		6,496,397
*特別会計					
1 国民健康保険事業(施設)	8,206	695			7,511
2 下水道事業	5,323,935	382,486	570,700		5,512,149
3 土地取得事業					
計	5,332,141	383,181	570,700		5,519,660
合 計	12,000,894	783,837	799,000		12,016,057

問

保育二ーズの多様化・複雑化に対応するため、保育士増員の考えは。

放課後児童クラブ運営

費補助金の充実強化はできないか伺う。

岡山 富男議員

答

安心して子どもを育てながら働くことができるように、それぞれ事情に応じた保育をすることが、子どもの健やかな成長に大きな影響を及ぼすことにより、児童福祉施設最低基準の規定により、保育士配置の充実に努めていきます。また、児童クラブ運営補助金は、滋賀県児童健全

ことができるように、それぞれ事情に応じた保育をすることが、子どもの健やかな成長に大きな影響を及ぼすことにより、児童福祉施設最低基準の規定により、保育士配置の充実に努めていきます。また、児童クラブ運営補助金は、滋賀県児童健全

質問も

質問

育成事業費補助金交付要綱に定められている補助金額に毎年度町単独で30万円追加しています。

問

幼・小・中でいのちの大切さと人権尊重について、どのような道徳教育を進めているかと考えておられるのか伺う。

岡山 富男議員

答

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし、と謳われております通り、豊かな体験活動や教育学習等と関連させながら、心に響く指導の工夫の積み

育成事業費補助金交付要綱に定められている補助金額に毎年度町単独で30万円追加しています。

問

墓地公園整備事業補助金については、今でも申請すれば交付されるか

答

山添 勝之議員
事業主体が自治会(地縁団体)

で、条件が整えば可能です。但し、宗教法人や民間会社は対象にはなりません。

平成21年で終了ですがそれ以後でも必要に応じ検討します。

問

薬師の正念寺
西隣の墓地をど

のように認識しているのか。

山添 勝之議員

答

平成16年に霊
園業者が売り出

したが町としては墓地として認めておりません。地目も田であり複雑に権利も絡んでおり苦慮しております。

行政指導もしておりますが、その後刑事事件が発生するなどの理由により転用申請が出来ない状態が続いております。

問

おたつしや教室の現在の開催

状況、また、新年度の介護予防についてどのように考えているのか伺う。

貴多 正幸議員

答

平成20年度においては、定例開催が28地区、不定期開

催が3地区となっております。

ます。

平成21年度の事業とい

たしましては、体操ビデ

オの作成や、サポーター

交流会の開催、体力測定

の調整等と共に再度新規

サポーターの養成を行う

ことを考えております。

高齢者が自分で参画で

きる楽しみをもってもら

えるよう支援していきたい

と思っています。

小中学生の携

帯電話持ち込み

問

について、竜王町の現状

を伺う。

村田 通男議員

答

中学校におい

て生徒の携帯電話

話は学校生活に特に必要

のないものとして、持込

実上禁止しています。

授業中に携帯電話が鳴

ったり、メール交換をし

ている状況の報告は受け

ていません、規則が徹底

されている状況にありま

す。

第5次総合計

画について、何

より大事なものは各集落の

現状と今後が生かされる

ことだと考えるが、長野

県阿智村や日野町の取り

組みを学んで進めていた

だきたい。

問

若井 敏子議員

町づくりは各

自治体それぞれ

ですが集落や地域の皆さ

んと関わりきめ細かく議

論することが大事だと考

えています。

今行っている懇談会の

意見や若者などたくさん

の皆さんの意見を集め、

し、進めます。阿智村、

日野については、いろい

ろ伺いました。参考にし

ます。

問

金融危機、経

済悪化から町民

の暮らしや雇用、営業を

守るために、町としての

対応策を伺う。

若井 敏子議員

町内の企業か

ら制度融資の申

し込みは4月から10月ま

で9件、11月以降は20

件を超える利用となつて

問

竜王小学校の

教育条件を整備

することは喫緊の課題と

考えるがどうか。

学校図書室、司書の配

置と、本の購入を求める。

小一複数加配の見通しを

伺う。

若井 敏子議員

トイレは修繕

しています。黒

板は上下可動式のもの

を導入します。カーテンは

一部修繕します。子供用

の力量を発揮していた

だけるよう支援を。

若井 敏子議員

職員の力を引

き上げ、行政力

を高めることは重要です。

権限委譲が進められる反

面、職員定数の管理につ

いての指導もあり、厳し

い状況です。今後は業務

の見直し、外部委託、嘱

託臨時職員の雇用など知

恵と工夫を進めます。

職員が地域の皆さんと

「協働」の中で「自治意

行政視察研修報告

総務産業建設常任委員会 委員長 山田 義明

10月16日・17日の2日間に亘り行政視察研修を委員6名、竹山町長、事務局1名参加のもと京都府南丹市八木バイオエコロジーセンター、神戸市防災未来センター、徳島県上勝町彩事業を視察しました。

八木バイオエコロジーセンター

耕蓄連携の今後の展開課題として研修した京都府南丹市の家畜糞尿処理施設 八木バイオエコロジーセンターはメタンガスを発生させて発電する施設と、液の糞尿を乾燥させて普通肥料（堆肥）として販売し、未熟堆肥（オガコ）が混じっている。は、圃場に散布している。施設の管理者は財団法人八木町農業公社（第三セクター）で南丹市、J A京都、酪農センターが構成団体です。施設は敷地面積が17000㎡で施

設面積は堆肥施設8700㎡、メタン発酵施設2700㎡です。ガスの発生量は3400㎡で、発電機は3台で70KWが2機、80KWが1機で5000KWの発電量である。余剰電力は1W9円で売電されています。

神戸市防災未来センター

神戸市の防災未来センターは国連・国・兵庫県から出資され設置された。この施設は財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構が運営を行っている日本の防災センター拠点施設です。語り部の方により神戸・淡路大震災の体験談を聞き、その後の復興事業がどの様に進み、また防災のあり方や今後のまちづくりに於いての考え方などについて学びました。

わが町は断層が無いので安心だとは言っておれない。日本は地震と火山を抱えている国です。いつ何処で大地震が発生するかも知れません。この時、当面のその場を進展させるには、「自助、共助（互助）、公助」の精神で、すぐさま取り組む必要もありますし、備えに対しても必要と教わりました。見学を終えて、地域防災力の向上、防災対策の開

町長にお会いしてのお話は以下の通りでした。今は地方の状況が変わり今まで改革、改革と言われていたけれど、発想を変えないといけない。どう変えるかというところでは「ゼロウエスト宣言」をしています。無駄とか浪費とかを無くすと言うことです。今大事なことは、環境の整備と情報の管理だと思っています。等の話がされました。（株）いどりの 横石知二氏に「葉っぱビジネス」

との関わり等についての講演を聞きました。その要旨は、事業の着手前は横石氏が上勝に来られた当初、皆さんは自分の町をよく卑下され、地域資源の活用もされていなかった。過去に受けた霜害によるダメージが大きかったのである。誰もが「昔は良かった」と言われる、それは変えたくないのがあるが、流れを自分達が作っていかねばいけないと頑張った。

帰って来た。上勝は過疎地であり、生活できる基盤がなければダメです。その一番大切なのが学校を守り人材を育てることです。事業の成功は昔はリーダーが必要だったが、今はプロデューサーが必要であり、一人ひとりの出番や居場所を作り元気にしてあげるのとだ。物の販売ではよそを考

えないで自分なりの販売方法で自分の値段で売ること、同じ土俵で競争しないことです。

お話を聞きし、いかに竜王町が恵まれた環境であるかを知ると共に、これからのまちづくりや産業振興に活かし、まちのブランド向上に役立たせたく委員一同感銘を受けた講演でした。

以上、簡単ですが視察研修の報告とさせて頂きます。

上勝町

徳島県上勝町で笠松



徳島・上勝町 彩事業での出荷場視察見学

行政視察研修報告

教育民生常任委員会 委員長 岡司 重夫

10月14日・15日の2日

間教育民生常任委員会行政視察研修として委員6名、町行政1名事務局1名参加のもと、島根県益田市保健センター、島根県益田市の安田公民館及び山口県防府市小野公民館を視察しました。

益田市保健センター

益田市の人口は、平成20年4月現在で約5万2千人で、世帯数は増加しているものの人口は5年間横ばい傾向という核家族化がすすんでいる町です。

高齢化率は29・5%で65歳以上の方が約1万5千人、1人当たりの医療費は平成19年度で一般28万円に対し、老人は84万円と高額になっています。

益田市健康づくり活動計画では、昭和58年から平成13年にかけて各地区

(集落)ごとに「健康を守る会」を設立され、途中平成10年には益田市健康づくり連絡協議会を設立されています。

全15地区が「健康を守る会」を設立された平成13年に、健康ますだ21推進協議会を設立、翌14年には健康ますだ21計画(含む15地区計画書)が

完成し、本格的に地区活動及び部会活動の展開と基本健診の総合的な取り組みとしての個別健康教育の実施がスタートしました。

行政、地区、関係機関協力機関(商店会、酒販組合、たばこ販売組合)が一体となった部会として「栄養、食生活と歯科保健部会」「たばこと酒部会」「運動とストレス部会」の三部会があります。

非常にユニークな部会ながら健康の本質をつい

た重要な部会だと感じました。

例えば「たばこと酒部会」では、市内の小中高校への敷地内禁煙の周知ポスターの配布、禁煙、分煙ポスター、禁煙者ステッカーの配布、お酒の学習会の開催等があります。

今後の課題として挙げておられるのは、子供の頃からの取り組み、継続した繰り返しの取り組み、正しい知識、新しい知識のタイムリーな情報発信です。

長年に亘り健康づくりの一大組織を作り、運営されてきた方々、また地区の世話役として奔走された方々に対し敬意を表したいと思います。

益田市 安田公民館

益田市安田地区は、人口約4200人で新興住宅地と従来からの集落の

二面を併せ持ち、農地の減少、休耕地の増加、少子高齢化、地域づくりが地域の課題となっています。

また、新興住宅地と従来からの集落との考え方の違いや、交流の少なさが目立ち、公民館行事等にどのように新しい地区の住民の参加を促し、繋がりを作っていくかも課題となっています。

以上の背景から、昨年度から公民館を中心に取り組みられている景観対策としての「菜種栽培」を通して、その活動の母体となる組織「やすだ振興卯の花会」と様々な年代の住民や、児童、生徒を公民館がコーディネートすることにより「景観づくり」「健康づくり」「いきがいづくり」について住民が学習し、実践していくことを目的とされています。

特に重点を置かれている「菜種栽培」(島根県の助成事業)では、5月の菜種収穫、乾燥、脱穀から10月の施肥、種まき

11月の文化祭にて菜種油使用の料理試食等、きめ細かなスケジュールを立て実施されています。

この事業により、景観が地域に潤いをもたらした安田の「菜種油」を使用して近隣地区が「山菜天ぷら」を行事に取り入れるなど、近隣との連携も図られつつあるとのこと

山口県防府市小野公民館

小野公民館は、穏やかな農村地帯のほぼ中央に

位置し、子供から高齢者まで気軽に立ち寄れる地域のコミュニティセンターを目指し、学級、教室、講座、サークル活動および生涯学習を推進され、地域住民の連帯感を高め、活力ある地域づくりに努力されています。

以上視察を通じ多くの事を学びました。今後、委員会活動を通じて竜王町の活性化につなげたいと思います。



益田市保健センターでの研修の様子

各委員会報告

教育民生常任委員会

委員長 岡司 重夫

12月11日、次の事項について調査しました。

後期高齢者医療制度について

本年8月に滋賀県後期高齢者医療広域連合協議会議長名で、高齢者が安心して暮らせるために、将来を見据えた制度の定着と安定運営に向け、国会及び関係行政庁に対し意見書を提出されました。

通学路と課題について

保護者からあがっている通学路改善要望の説明と、両小学校合計で164名のスクールガードの方々に大変協力をしていただいているとのこと。

学校給食について

平成21年度より米飯が週4回となります。現在、副食材料費の値上げが続いており、PTA等の了解を得て給食費が改正されます。

医科・歯科国保診療所

医科・歯科国保診療所を視察し、施設概要、診療日および診療時間、また一般状況について説明を受けました。

医科については、地域住民の健康保持増進と疾病予防、早期発見、早期治療に勤めると共に、治療と予防、保健事業を軸に福祉事業までを視野に入れた幅広い活動をされ、

医療費の見直しについては、後発薬品の導入を進めることにより、薬剤費の価格を抑え、患者負担の軽減に努めておられます。

歯科については、保健事業を軸に虫歯や歯周病予防のための活動を行い、地域包括ケアとしての事業に力を注ぐため、各区へ出向いての健康教室や、町内の学校・園での集団指導、乳幼児健診での個別指導、健診後のフオロ

ー事業フッ素塗布等多様な活動に取り組んでおられます。

主な意見として、

医科診療所の受付窓口の天井に雨漏れの跡があるが、雨漏れの無いよう改修されたい。

歯科診療所の待合室の隣に機械室があり、待合室にまでコンプレッサーの音が非常に大きく聞こえるため、その改善に努められたい。

総務産業建設常任委員会

委員長 山田 義明

本委員会は10月10日近江八幡市の(仮称)新エネルギーパーク(クリーンセンター)の整備の動向について、この計画の経緯と今後の町や近隣集落の対応について調査しました。

11月17日は竜王町の産業振興に関する取り組み状況と課題については竜

王町21世紀型農ビジネス推進事業、集落営農組織を対象にした補助事業及び担い手の育成確保に伴う補助事業、農地水環境保全向上対策の取組状況、観光圏整備事業についての調査。

12月10日は建設水道課事業進捗状況について本年度予定の事業内容や委

託業務の進捗状況の確認を行いました。なお、県道水口竜王線が最終予算調整の中で水口境まで白線を除き舗装工事は今年度中に完了の予定です。

主な質疑応答

問 まちづくり交付金で未着手事業はないか。

答 国から予算の増額の話がありますが、精査します。



育苗箱を活用した
野菜栽培実証展示図

合併調査特別委員会

委員長 蔵口嘉壽男

本委員会は、去る12月15日に竹山町長、担当職員の出席を求め委員会を開催しました。

一、地域創造まちづくり懇談会における市町合併にかける意見等について

「地域創造まちづくり

懇談会」には、現在、19自治区、述べ560人の参加があり、出された各意見の説明を受けました。委員からは、町長の合併への取り組みの基本的なスタンスや合併の方向性について質問がありました。

竹山町長は、「合併に

については広域の合併が望ましい姿ではないかと考えるが、合併するのか、しないのかの判断は、これからもっと意見を積み重ねていきたい。

現状では、竜王町は自主・自律のまちづくりの方向で、遅いまいちづくりに全力投球をしたい。」との回答がありました。

二、県下における市町合併の動向について

近江八幡市と安土町および長浜市と周辺6町の合併の現状について説明を受けました。

三、「平成の合併」をめぐる実態と評価（全国町村会）資料について

全国町村会では、合併した9自治体、合併していない8自治体を抽出して合併をめぐる実態と評価について、検証した結果が本年10月に示され、この資料をもとに、その結果を朗読により確認しました。

四、最近の新聞報道等に見られる合併の動きについて

毎日新聞の「市町村合併打ち切りへ」では、総務省および政府の地方制度調査会において、合併推進の方針を打ち切る見通しの記事などについて、合併をめぐる情報として委員の共通理解をはかりました。

地域創生まちづくり特別委員会

委員長 山添 勝之

12月15日 次の事項について調査しました。

一、IBM跡地利用計画について

現在大きな進展はないが都市計画マスタープランの中で、住宅として位置づけがなされており若者が定住できるよう一戸建てのみならず、集合住宅を計画されるよう希望します。

主な質疑応答は

問 計画地の3分の1でも先行投資を考えられないか
答 全てはタイミングです

問 IBMは、住宅という認識をしているのか。

答 地区計画は官が主体であるので計画通り進めていきます。

2. 庁舎周辺中心核について

全ての地権者から借地に関する同意が得られたため、今後は諸手続きを経て平成22年秋頃の開店を目標としています。

主な質疑応答は

問 庁内検討会議とは
答 建設や公民館のコンバージョン等全てを検討する関係会議です。

3. 小口工業団地について

一部の公団混雑地区の公団訂正が進み、小口八重谷線の歩道設置が可能となりました。企業立地は遅々として進んでおりません。

4. 雪国まいたけについて

業績は上向いているものの、計画実施は未だ困難です。町としては近畿農政局と連絡を密にして今後の方針を検討しております。

意見として

農工法の延長期限切れまでに、会社に対し強く申し入れをすべきである。

5. 岡屋地先県有地について

過日副知事ほか県職員が予定地を視察されました。今後環境影響評価等を経て造成工事を行い平成25年には分譲を予定しています。

意見として

今後国道477号の拡幅と名神高速へ南側からの乗り入れ等諸問題を解決しなければならぬ。

議会運営委員会報告

委員長 岡山 富男

今回、平成20年第3回臨時議会に、提案される案件は、条例一部改正2件、一般会計・特別会計の補正予算3件、人事案件1件、計6議案であります。

委員会としては、来年の予算可決後、予定をしていくことで確認をし、全員協議会で報告をしました。

本委員会は、会議録署名議員の指名について、会期および審議の日程について、提出議案の処理について審査決定しました。

11月7日、平成20年第4回定例会の会期および日程について、審査決定しました。その後、11月27日福井県高浜町議会議会運営委員会視察研修受け入れについて協議しました。今日まで取り組んできた内容議会報告会・夜間議会・有線放送によるライブ放送等で意見交換・情報交換を行うことに決めました。

また、委員会室において、議会報告会について協議をしました。委員からの意見の中で、議会報告会を行うことには反対でない。ただ、衆議院解散がいつ行われるかわからないので、予定が立てづらい。また、定期的に町長が懇談会に町内を回られる為、議会報告会を11月にこだわる必要はない。との意見が出されました。その結果議会運営

11月27日、平成20年第4回定例会に提出される提案事件について説明を受けました。今回提案される案件は、条例一部改正1件、一般会計・特別会計の補正予算7件、公の施設の指定管理者の指定について11件、計19議

案であります。

本委員会は、会議録署名議員の指名について、会期および審議の日程について、提出議案の処理について審査決定しました。

議会開会中に追加案件として、竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例について説明を受

け、議案の処理について審査決定しました。つづいて、一般質問20問について、それぞれ協議しました。また、夜間議会についても議論し、一般質問は、午後1時から開催し、夜間の部は午後6時から9人9問とするように決定しました。

議会広報特別委員会報告

委員長 貴多 正幸

本委員会は、平成20年第3回定例会閉会後の10月3日、10月8日、10月21日、10月23日委員全員出席、10月17日委員1名欠席のもと、委員会を開催し、11月1日に議会だより145号を発行しました。

また、平成20年第4回定例会開会中の12月8日

に委員1名欠席のもと、議会だより146号の編集会議を開催し、ページごとの役割分担、文字数等について検討しました。今後も委員それぞれが協力しながら、町民に親しまれる、わかりやすい議会だよりの発行に努めてまいります。

議会傍聴記

山添 信男

新年明けましておめでとうございます。

今回、議会だよりに寄稿させていただく機会を得ましたので、町政への思いと併せてペンを取ってみました。竜王町は、「田園文化が薫る交竜の郷」をめざすべく将来の町の姿として、2001年から2010年の10年間にわたる「第4次竜王町総合計画」や、

一昨年に策定された2015年を目標年次とする「竜王町都市計画マスタープラン」などにより、町民憲章に掲げられている自然を愛しみどり豊かな美しい町づくりに取り組まれています。

中長期にわたるこうしたプランを実現していくためには、時代を先読みする目、財政力を見極める目、町民の思いを汲み取る目が必要であり、この視点で町政を見つめることが議会の役割であると考えます。

12月に開催されました町議会定例会の一般質問は20項目を数え、私たち町民には身近な話題が多いように感じました。その中でも上述した町の総合計画を問うものや、財政基盤の充実について問うものは、やはり竜王町の将来像を如何に描ききれているかの本質をさぐるものであり、町当局も核心に触れた回答が望まれるもの

でありました。

私もインターネットを利用して、町のホームページで議会日程などをチェックし、一般質問については予め質問内容も公開されており、関心のある質問には是非傍聴を

と日頃より思っています。特に最近では本会議の時間をずらして一部夕方からの開会もあり、勤めを持つ者でも議会傍聴が可能となるなど、開かれた議会運営に努めていただいております。私は今回の傍聴は都合により行けませんでしたが一昨年の第3回定例会での一般質問を傍聴させていただいた時には、議員も町当局側も真摯に質問と回答を交わされ、ほどうい緊張が私たち傍聴者にも感じ取れました。

ただ、惜しまれることは32席ある傍聴席がほとんど空いているということ。私たちは選挙で議員を議会に送るだけで役割が終わったというものではないはず。私たちが推薦し、投票して送った議員が議会を何で発言し、何を討論しているのかを見届けることも大切なことではないでしょうか。私たちの 竜王町を住みよい町にしていくためにも、議会傍聴は貴重な学習の場であると思います。皆さんも是非一度機会を作って議会傍聴をしていただければいかがでしょうか。

最後になりましたが、議会のますますのご発展をご祈念申し上げ末尾とさせていただきます。

編集後記

「変」昨年を象徴する文字となりました。

アメリカ次期大統領のオバマ氏が「変革」「チェンジ」と唱えられたのはうなずけるとして、日本国内は実に「変」な一年となりました。

安倍政権から福田政権そして麻生政権へと変化した、次々と入れかわる閣僚の名前さえ覚えることもできず、政治不信は深まるばかりです。9月以降は世界的な金融不安におちいり、年末にかけて自動車産業等の不振により、非正規社員、派遣労働者の解雇が相次ぎました。

まさに「急変」といえる非常事態です。

一方、竜王町議会には「変」は起こりませんでした。

竹山町長はじめ執行部はしっかりと行政運営をされ、我々議員も、それぞれ個性を発揮しながら住民皆様の目線から執行部に対し質問、意見を発しました。

本年も、更に開かれた議会親しまれる議会そして期待される議会へと努力してまいりますので、町民皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。

図司 記

議会広報特別委員会
委員長 貴多 正幸
副委員長 大橋 弘
委員 岡山 富男
山添 勝之
図司 重夫
小森 重剛